

第3期 活 動 報 告 書

自 平成25年 4月 1日

至 平成26年 3月31日

特定非営利活動法人 三陸ボランティアダイバーズ

活動報告書

自：平成25年 4月 1日

至：平成26年 3月31日

1. 活動の概況

(1) 活動の経過及び成果

水中作業

平成24年4月	8回	・マリンダイビングフェア2013にてPR
平成24年5月	10回	・吉浜漁港にてホンダワラの刈り取り作業 ・小石浜漁港付近にて瓦礫の撤去作業
平成24年6月	13回	・東海東京証券にて講演会 ・沖縄マリンエイドにて周知活動
平成24年7月	8回	・岩手県立福岡高校にて講演会 ・くまハウス洪水災害からの復旧作業 ・綾里漁港付近にて瓦礫の撤去作業
平成24年8月	16回	・崎浜漁港付近にて北里大学と協同で瓦礫の撤去作業
平成24年9月	18回	・ホタテ養殖再開に向けボランティア作業 ・花巻市立石鳥谷中学校にて講演会 ・あわびの移植作業
平成24年10月	21回	・崎浜漁港付近にて瓦礫の撤去作業
平成24年11月	20回	・三保水中生物研究会にて講演会
平成24年12月	17回	・大船渡漁港付近にて瓦礫の撤去作業 ・ホタテ養殖再開に向けてボランティア ・うめだ阪急にてパネル展
平成25年1月	15回	・フィリピン台風被害視察 ・大船渡市赤崎にて瓦礫の撤去作業 ・綾里漁港付近にて瓦礫の撤去作業 ・NHKさわやか自然百景にて周知活動
平成25年2月	14回	・上方水中映像祭りにて周知活動 ・マリンエイド大阪にて周知活動 ・吉浜にてブルーサポート岩手と協同作業 ・花巻市立湯口中学校にて講演会
平成25年3月	12回	・ワカメの刈り取りボランティア ・マイヤ（大船渡市）にて写真展
合計	172回	

(2) 当団体が対処すべき課題

- ・三陸沿岸部の現状を知ってもらうために現地への参加を促し、情報を発信すること
- ・三陸漁業復興のために支援活動を継続していくために、資金を集めること
- ・NPO法人の事務機能を高めて、安定した運営を目指すこと

(3) 収支および財産の状況の推移

	平成25年4月1日 現在	平成26年3月31日 第3期
収 入 (千円)	12,555	8,332
経常利益または 経常損失(△) (千円)	2,222	730
当期利益または 当期損失(△) (千円)	2,152	730
1口当たり当期利益 または当期損失(△) (円)		
総 資 産 (千円)	5,798	6,078
純 資 産 (千円)	3,507	4,168

* 各金額は、表示金額未満を切り捨てて表示しております。

2. 団体の概況 (平成26年3月31日現在)

(1) 主要な事業内容

東日本大震災により三陸沿岸部は甚大な被害を被り、漁業復興に向けた支援活動と破壊された自然環境の整備を行う。管轄の漁協と共に海岸、海底、河川での清掃、調査を行い漁場回復、漁港や河川の整備を図る。特にスクーバダイビング等の手法を用い、自治体で行う撤去作業、清掃作業でカバーできない海底の清掃・調査を行う。漁場回復、漁港、河川の環境整備は漁業関係者のみで無く、沿岸部の方々の生活に大きく影響し、被災地全体の復興に大きく寄与する。

(2) 主要な事業所

岩手県陸前高田市横田町友沼46イ

東京都品川区大崎3丁目1番1-1704号

(3) 社員の状況 25名

(4) 理事及び監事

地 位	氏 名	主 な 職 業
理事長	佐藤寛志	ダイビングショップ経営
理事	越智隆治	写真家
理事	早乙女祐基	会社員
理事	竹林 真	会社員
理事	森 和太	自営業
監事	大場誠司	会社員